

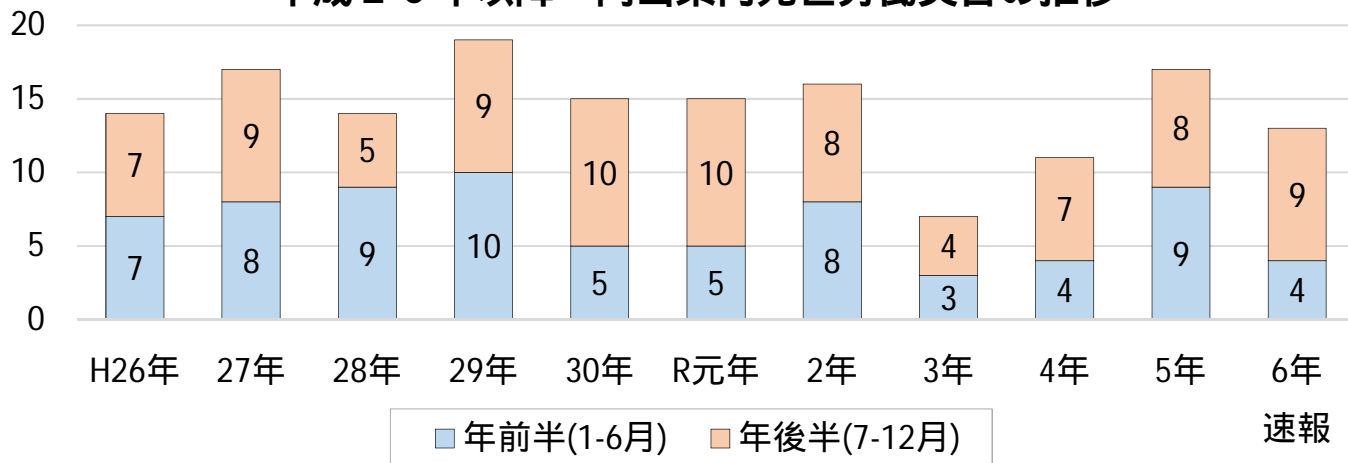
# 年末年始を無災害で乗り切ろう！

## 令和6年後半、死亡労働災害多発！！

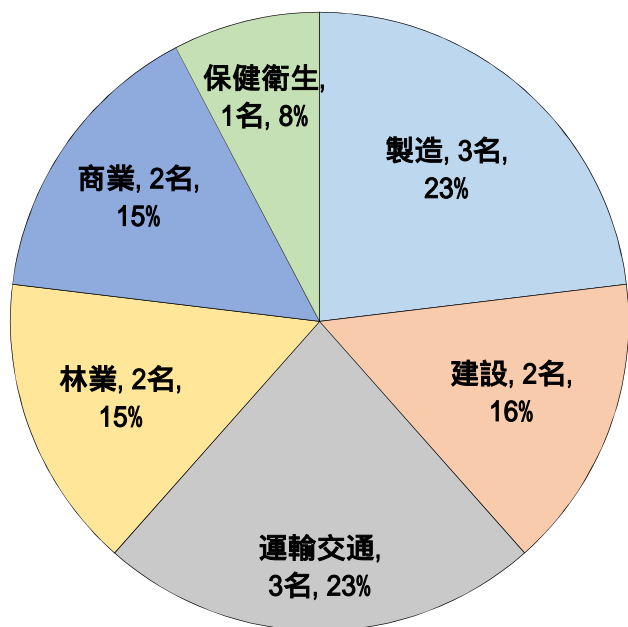
岡山県では労働災害によって平成26年から令和5年までの10年間で145名、年平均で約15名の方が亡くなっています(新型コロナウイルスによるもの除く)。

令和6年においては11月末時点で12名、そして12月に入ってから1名が亡くなっており12月11日現在の速報値では13名となっています。また、このうち9名が7月以降に亡くなっています。

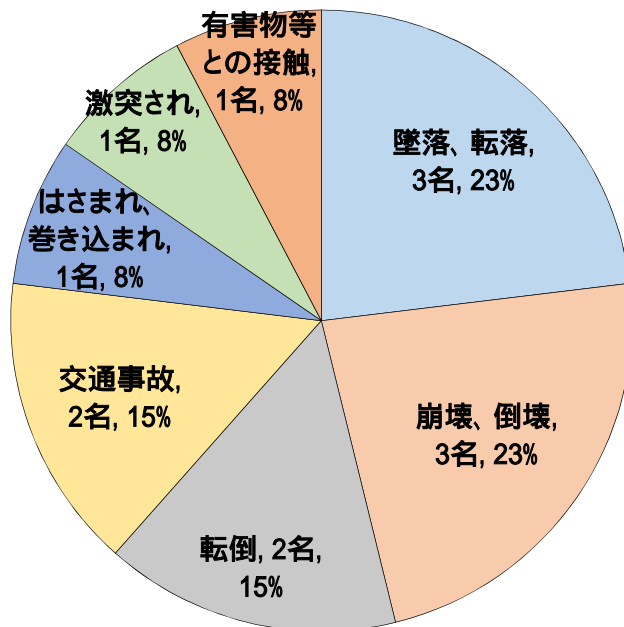
平成26年以降 岡山県内死亡労働災害の推移



令和6年 業種割合



令和6年 事故の型割合



令和6年、県内の死亡災害の概要(11月末時点)はこちら



# 年末年始の安全衛生活動に取り組みましょう！

年末は何かと気忙しいものですが、これが焦りや急ぎに繋がると、人は間違ったり、省略や近道などの行動に走りがちになり、事故・災害のリスクが高まります。作業を行うときには、落ち着いて、ゆとりをもって臨みましょう。

また年末年始にかけては、中央労働災害防止協会など、様々な労働災害防止団体・業界団体等が無災害運動を展開しています。概ね共通しているところとして、12月から1月にかけて、次の事項に関する取り組みを呼び掛けています。

- 経営トップの安全衛生方針決意表明
- ポスターやのぼりの掲示など意識高揚
- パトロールの実施
- 機械設備の検査点検
- 休み明けの作業再開時の安全確認
- 大掃除に併せた5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の徹底
- 飲食など生活習慣、感染症対策、安全運転などの呼びかけ 等



## 今年もやります！

### 基本作業の徹底 年末年始も無災害

(中央労働災害防止協会：令和6年度 年末年始無災害運動標語)

令和6年中の仕事をキレイに終え、新しい年を気持ちよく、順調にスタートできるよう、労使一体となって全員参加で無災害を目指しましょう。



みんなで

# 安全 職場

